

岩美町児童生徒情報活用能力系統表

		小学校		中学校		
		高学年		中学校		
		5 年生	6 年生	1 年生	2 年生	3 年生
情 報 活 用 能 力	A 技 知 能 識 ・	ア) 目的に応じて I C T 機器を選択して情報を集める イ) 電子メールで情報を集める ウ) 新聞記事や辞典などから情報を集める エ) 使用する I C T の特性を生かしながら情報を集める オ) 複数の資料から、目的に応じて特定の情報を集める カ) 問題解決の手順を論理的に組み立てることのよさが分かる キ) 体験を通して、プログラムの働きやよさ、情報技術が社会を支えていることに気づく		ア) 複数の資料から、目的や必要に応じた情報を取り出す イ) 複数の表やグラフからデータを読み取る ウ) 目的や必要に応じた適切な方法で情報を検索する エ) 情報が社会に果たしている役割や及ぼしている影響についての理解 オ) 情報に関する法・制度やマナーの意義		
	B 表 判 思 現 断 考 力 力 力 等 ・ ・	ア) 目的に応じて、見つけた情報や整理した情報を比較したり、分類したりする イ) 問題の解決に必要な情報を視点を定めて情報を整理したり、多面的に検討したりする ウ) 収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして、活用しやすいように情報を整理する エ) 引用したり、実例を挙げたりして、根拠や理由を示してまとめる オ) グラフや表を引用してまとめる カ) 考えと根拠を区別してまとめる キ) 相手の状況に応じて、表現方法を工夫する ク) 意図する一連の活動を実現するため、動きの組み合わせや意図した活動に近づく改善策を考える		ア) 複数の資料から、目的に応じて特定の情報を見つけ出し、関連付ける イ) 複数の資料の情報を、目的に応じて整理したり解釈したりする ウ) 情報の受け手の状況に応じて、適切に情報を発信する エ) 複数のグラフを比較したり関連付けたりして、傾向を読み取る オ) 「考えるための技法」を適切に活用して、情報を整理したり、自分の考えを明確にしたりする カ) 整理・処理・解釈した情報をもとに比較・関連付けたり、多面的に考察したりするなどして判断する		
	C 人 間 力 に 向 か う ・ 等	ア) 電子メール・掲示板・SNS等の特性を理解し、適切に利用しようとする態度 イ) 適切な情報モラルを身に付け、情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ウ) 他人の情報を大切にし、適切に取り扱おうとする態度 エ) 身の回りの情報機器を、問題の解決や意図、目的に応じて適切に利用しようとする オ) 情報技術のよさや価値を社会や自らの将来に関連付けて考える		ア) 電子メール・掲示板・SNS等の利用を通して、人権や著作権などの尊重が重要であることを理解し、適切な行動をしようとする態度 イ) 情報の誤認性や危険性を理解した上で、適切に利用しようとする態度 ウ) 自分の健康面に留意して、適切に利用しようとする態度		
社 会 と の つ な が り	情 報 モ ラ ル 教 育	不適切な情報であるものを認識したり、情報の正確さを判断する方法等を理解しインターネットを使うことができる。 (チャット・電子掲示板・SNSなど)	情報にも自他の権利があることや、社会への影響があることを理解し、インターネットを使用することができる。 (チャット・電子掲示板・SNSなど)	自他の情報や権利を守りながら、インターネットを使用することが出来る。 (アカウントの管理・著作権)	インターネット上でメッセージを送り合うときの注意点を理解して、使用することが出来る。 (チャット・SNS)	インターネット上に写真や動画などの情報を公開するときの注意点を理解して、使用することが出来る。 (チャット・SNS)
	プ ロ グ ラ ム の 教 育	ソフトウェアブロック 【算数】プログル（多角形・平均）の活用 【総合】スクラッチの活用	ソフトウェアブロック 【算数】プログル（最大値・中央値）の活用 ロボティフィカル 【理科】マイクロビットなどの活用	ソフトウェアブロック 【 】 プログラミング 【美術】図形描画（Processing）←中学校のプログラミング事例として公開されていましたが、難易度が高いかもしれません)	ソフトウェアブロック 【数学】確立（1が出る確率）の活用	プログラミング 【技術】プログル技術・教科書会社提供など
下 支 え す る ス キ ル	撮 影 ・ 編 集	目的に合わせて、写真機能や動画機能を選択し使用することができる。	動画編集ソフト（Imovie等）を使って、ショートムービー等を作成することができる。	ショートムービーを作成することを目的とした動画の撮影を、著作権や肖像権違反にに該当しないかを確認・判断しながら行うことができる。		
	タイピング能力	キーボードで文字（20～30字程度）を打ち、文章を作成できる。		・キーボードで文字（10分間に600字程度）を打ち、文章を作成できる。 ・両手を使ったローマ字入力（ブラインドタッチ）ができる。		
	情報の収集	集めた情報を比較したり、分類したりしてそれぞれ情報の特徴を知り、目的に合わせて活用することができる。		身近な人達から情報収集を行う手段として、Webアンケート（Googleフォーム）を活用することができる。	集めた情報を、多角的に検証して真偽を確認すると同時に、その情報を用いるにあたって著作権や肖像権違反にに該当しないかを確認・判断して活用することができる。	
	Google classroom	課題を提出することができる。作成したものをストリームに投稿できる。	課題を提出することができる。作成したものをストリームに投稿できる。	提出期限を意識して、課題を提出することができる。	先生からの課題コメントを基に、課題の修正・再提出をすることができる。	共有ユーザーと同時編集を行い、課題の提出・修正・制提出をすることができる。
	Google スライド	簡単なプレゼンテーションを作成できる。（key-noteも含む）	プレゼンテーション資料を作成することができる。（key-noteも含む）	ファイルを共有しながらプレゼンテーション資料を作成することができる。	文字の大きさ、画像の配置など聞き手を意識したプレゼンテーション資料を作成することができる。	共有ユーザーと同時編集を行い、聞き手に伝わりやすいプレゼンテーション資料の作成・発表をすることができる。
	Google ドキュメント	文章を作成することができる。	文章や写真を使い、様々な資料を作成することができる。	読み手に分かりやすく、説得力のある文章表現、資料のレイアウトを考えながら文書の作成ができる。	文書を公開するための文書ファイルの選択や配布方法を習得している。	共有ユーザーと同時編集を行うことができる。
	Google スプレッドシート	足し算や引き算などの四則計算のプログラムが作成できる。	目的に合わせて表を作成したり、グラフを作成したりすることができる。	目的に合わせて、適切な表やグラフの種類を選択することができる。	セルの結合や折り返し、凡例の表示場所に気をつけて、整理された表・グラフを作成することができる。	基本的な関数を利用したプログラムが作成できる。（SUM、AVERAGE、COUNTなど）
	Google Jamboard	ペン機能やテキストボックスなどの機能を使い、考えをまとめることができる。	Jamboardを使って、話し合いをすることができる。	Jamboardを使って話し合いを行い、枠組みに沿った付箋の配置をすることができる。	写真や図形を使って、より整理されたJamboardを作成することができる。	Jamboardを使った意見の整理について理解して、白紙の状態からでも各自／グループの意見をまとめることができる。
その他			【Googleドライブ】フォルダを作成して、データを整理することができる。			
その他		トリミング、切り取り、コピー、貼り付け、アプリの操作、表計算ソフト入力モード切替、ファイルの圧縮		トリミング、切り取り、貼りつけ、アプリの操作・表計算ソフト・入力モード切替		